

日本スポーツ産業学会第31回大会開催される

第31回大会は、2022年7月9日(土)と10日(日)に、3年ぶりの現地開催(会場:帝京大学八王子キャンパス)にて行われました。参加申込者は総数201名(内有料参加者数:163名[正会員:89名, 学生会員:23名, 非会員一般:22名, 非会員学生:29名])となりました。これもひとえに、大会実行委員会の皆様および関係者の方々の多大なるご尽力の賜物と感謝申し上げます。

尚、プログラムの「アイデアコンペ」には23件の応募があり、厳正な審査の結果選ばれた5件の著者が当日プレゼンし、スポーツ庁関係者、学会会長、学会理事長ほかの審査を経て、次のような結果となりました。懇親会の冒頭に授与式が行われ、スポーツ庁長官賞はスポーツ庁の星野芳隆審議官、学会会長賞は尾山 基会長により授与されました。

○スポーツ庁長官賞

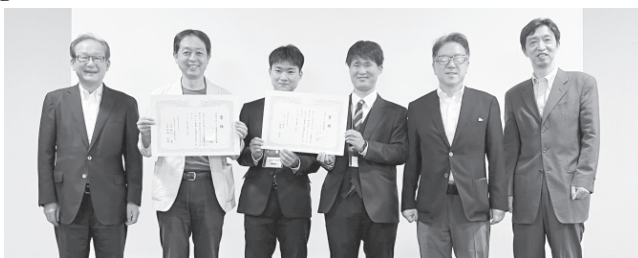
- ・「過疎地域におけるICTを活用した運動部活動の活性化」

龍谷大学 経営学部 スポーツサイエンスコース 松永敬子ゼミ
村地颯斗, 吉田匠吾, 田邊凌汰

○日本スポーツ産業学会会長賞

- ・「新しい文化体験に出会う 月額制でイベント参加し放題」

株式会社Sonoligo 森 貴信



左から尾山 基会長, 森 貴信氏, 村地颯斗氏, 吉田匠吾氏, 平田竹男会長, 星野芳隆氏

第10回冬季学術集会開催予告

第10回冬季学術集会は、次の予定で開催されますので、ご準備のほどよろしくお願いいたします。

○期日: 2023年2月11日(祝・土)

○会場: 阪南大学(〒580-8502 大阪府松原市天美東5-4-33)

◇ も く じ ◇

・令和3年度の学会賞について.....	2
・第31回大会アイデアコンペ ポスター発表について.....	2
・第66回理事会報告.....	3
・第32回総会報告.....	4
・スポーツ産業アカデミー開催報告.....	19
・事務局より.....	20
・『スポーツ産業学研究』原稿募集.....	21

令和3年度の学会賞について

令和3年度の学会賞につきましては、『スポーツ産業学研究』第31巻第1号（2021年1月発行）から第4号（2021年10月発行）に掲載された原著論文17編、研究ノート14編、フォーラム1編の合計32編の中から選出されました。

7月9日(土)の総会後に同会場にて授与式が行われ、その後、受賞者からお一人ずつ喜びの挨拶をいただきました。

○学会賞論文……………副賞10万円

- ・「東京都杉並区公立中学校の部活動活性化事業に関する研究」

千葉直樹（中京大学）著

〔原著論文〕（第31巻第4号掲載）

○奨励賞論文……………副賞各5万円

- ・「スポーツ指導スキルシェアリングの潜在的利

用者数の推計およびその特徴」

藤岡成美（早稲田大学）

石黒えみ（亜細亜大学）

舟橋弘晃（早稲田大学）

間野義之（早稲田大学）共著

〔原著論文〕（第31巻第1号掲載）

- ・「新型コロナウイルス感染症感染拡大に起因するリーグ戦休止・中止がプロバスケットボール選手に与えた影響に関する研究」

神田れいみ（慶應義塾大学）

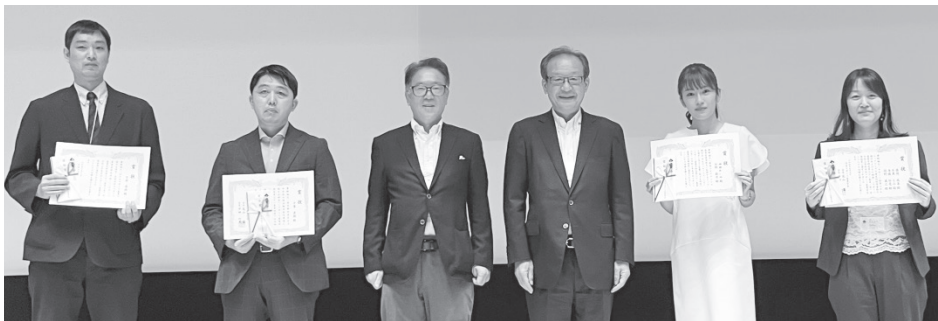
佐野毅彦（慶應義塾大学）共著

〔原著論文〕（第31巻第3号掲載）

- ・「江戸のスポーツ産業に関する研究－近世日本のスポーツ産業史研究序説－」

谷釜尋徳（東洋大学）著

〔研究ノート〕（第31巻第3号掲載）



左から谷釜尋徳氏、千葉直樹氏、平田竹男会長、尾山 基会長、神田れいみ氏、藤岡成美氏

第31回大会アイデアコンペ ポスター発表について

（※印は当日の最終審査発表者）

- ・「プロサッカーチームへのバーチャル技術導入」

桜美林大学 小林ゼミA

都 翔

- ・「Jリーグのアウェイツーリズムの満足向上と地域振興を繋げるスマートフォンアプリの提案」

産業能率大学 小野田ゼミ

佐藤宏紀、原 優太

- ・「Jタウン就職プロジェクト～セカンドキャリア支援による地域活性化～」

産業能率大学 小野田ゼミ

岩崎颯人、小野 捷、柏原汐里、加藤無々、

小金井綾音、北村凌匠

- ※・「新しい文化体験に会う 月額制でイベント参加し放題」

株式会社Sonoligo

森 貴信

- ※・「発達障がいの子どもたちを支援するスポーツツーリズムプラントホスピタリティスペースの活用」
福山大学
藤本倫史
株式会社ジャパン・スポーツ&ツーリズム・プレミア
倉田知己
日本発達支援サッカー協会
杉岡英明
- ※・「運動・スポーツ実施者を対象としたパフォーマンス向上や運動継続を支援するオンライン心理検査システムの開発」
株式会社トワール 研究開発部
佐野 孝
- ※・「過疎地域におけるICTを活用した運動部活動の活性化」
龍谷大学 経営学部 スポーツサイエンスコース 松永敬子ゼミ
村地颯斗, 吉田匠吾, 田邊凌汰
- ※・「[スポーツのDX化]－競技団体が抱える諸問題－」
株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ
服部 宏, 山本 俊
- ・「高大連携による持続可能な循環型スポーツクラブの運営 in 松原市
－競技スポーツの発展と障がいスポーツの普及の融合に着目して－」
木下佳奈, 武内映璃, 田中智也,
土持智沙
- ・「Better sport 地域による指導者の派遣部活動の活性化を目指す」
Team ASS
渡邊舜太, 坂本 迅, 長岡優翔
- ・「スポーツコーチング力競技会～認め合う・競い合う～」
中京大学 草薙ゼミナール
大寄, 宗宮星, 宗宮月, 藤松, 中藪, 西野
- ・「部活動お助け隊～Coaching Conditioning Chukyo～」
中京大学 草薙ゼミナール
藤岡玲昇
- ・バレーフリーの実践
中京大学 草薙ゼミナール
スポーツ体験会班
- ・アメリカ人になろう
中京大学 草薙ゼミナール
スポーツ体験会班
- ・DXを活用したスポーツ開発プログラムの構築
静岡産業大学 経営学部 大沼ゼミナール
- ・運動部活動における指導者の育成及び質の向上
帝京大学 岩村ゼミ①
竹内, 大泉, 森, 赤堀, 有働, 松丸,
吉本, 耕納
- ・運動部活動の地域における施設連携化
帝京大学 岩村ゼミ②
妹尾 諒, 坂本啓太, 木村柚希乃,
橋本敬介, 高見晃平, 井原孝輔,
岩崎皐希
- ・中学校部活動のオンライン移行
帝京大学 岩村ゼミ③
尾上和優, 札木健太郎, 井上 樹,
中村未来人, 岡東慎之介, 小西佑茉,
望月敬太
- ・中学校の運動部活動におけるシーズン制の導入
帝京大学 経済学部 経営学科 片上ゼミ
- ・これからの学校運動部の活動は完全週休2日制（土日）とする
－部活動の活性化について－
日本文理大学 スポーツマネジメント研究室 竹田ゼミ

第66回理事会報告

日 時：2022年7月9日(土)

11時00分～11時50分

場 所：帝京大学八王子キャンパス
ソラティオスクエア8階S81

出席者（敬称略）：

会 長 尾山 基, 平田竹男

理事長 井上智治

理 事 佐野毅彦, 高橋義雄, 武内紀子, 中村

潔（代理：大井義洋），中村好男，
藤原庸介，松尾哲矢，間野義之，三木谷
浩史（代理：伊藤 洋），水野明人
（代理：村田一雄），水野利昭

監 事 栗山貴行，得田進介

オブザーバー：

運営委員 青山芳之，東 俊介，石黒えみ，
伊地知直亮，磯貝浩久，児玉ゆう子，
佐々木達也，庄司博人，田中弘一，
長井延裕，新井野洋一，服部 宏，
藤本淳也

スポーツ庁 渡辺隆史参事官（民間スポーツ担
当）

経済産業省 浅野大介室長 商務・サービスグ
ループ サービス政策課スポーツ
産業室

山梨学院大学 笠野英弘

井上理事長による開会宣言後，尾山会長，平田
会長，渡辺氏，浅野氏より挨拶がなされた。

理事会の成立（出席者12人（含代理出席），委
任状提出者5人）が確認され，議事録署名人とし
て武内理事，松尾理事が指名された。

議題 1）第65回理事会議事録確認

第65回理事会議事録が確認された。

議題 2）2021年度事業報告について

井上理事長の指名により，中村好男理事（運営
委員長）から資料－1に基づき2021年度実施事業
について説明がなされ，原案通りこれを総会へ上
程することが承認された。

議題 3）2021年度収支決算報告書について

井上理事長の指名により，佐野理事（運営委員
会総務委員長）から資料－2に基づき2021年度収
支決算について説明がなされた。続いて得田監事
から監査報告がなされ，原案通りこれを総会へ上
程することが承認された。

議題 4）2022年度事業計画について

前回理事会にて承認された2022年度事業計画
（案）を総会へ上程することが確認された。

議題 5）2022年度収支予算書について

前回理事会にて承認された2022年度収支予算
（案）を一部修正のうえ総会へ上程することが確
認された。

議題 6）役員及び運営委員改選について

井上理事長から資料－5に基づき理事及び運営
委員の改選案が提案され，平田会長より補足説明
がなされ，原案通りこれを総会へ上程することが
承認された。

議題 7）スポーツ産業学入門書の発刊について

井上理事長の指名により，中村理事から資料－
6に基づきスポーツ産業学入門書の発刊について
説明がなされ，原案通りこれを総会へ上程するこ
とが承認された。

議題 8）第32回学会大会（2023年）の開催につ いて

井上理事長の指名により，高橋理事（運営委員
会大会委員長）から山梨学院大学主管による開催
が提案され，原案通りこれを総会へ上程すること
が承認された。その後山梨学院大学の笠野英弘氏
から挨拶がなされた。

次回理事会は2023年2月開催予定の冬季学術集
会時に阪南大学にて開催することが確認された。

井上理事長の閉会宣言があり，理事会を終了し
た。

以上

第32回総会報告

日本スポーツ産業学会第32回総会は，2022年7
月9日16時30分より，帝京大学八王子キャンパス
ソラティオスクエア1階CURIOSITY HALLにお
いて開催された。

1. 総会の出席者

第32回総会は，正会員48人（開会時）の出席，
43人の委任状により成立した。

2. 議事の運営

総会は、高橋義雄理事・運営委員会大会委員長の開会宣言および司会で開会され、尾山基会長ならびに平田竹男会長の挨拶がなされた。議長には正会員から長井延裕会員が推挙され、議事が進められた。議案及び審議概略は以下の通りである。

3. 議題

1) 2021年度事業報告について

議長の指名により、中村好男理事・運営委員長より資料－1に基づき2021年度に実施した事業について説明がなされ、原案通りこれが承認された。

2) 2021年度収支決算書報告について

議長の指名により、佐野毅彦理事・運営委員会総務委員長より資料－2に基づき2021年度収支決算について説明がなされ、続いて、得田進介監事より資料に基づく監査結果の説明がなされ、原案通りこれが承認された。

3) 2022年度事業計画について

議長の指名により、中村理事・運営委員長より資料－3に基づき2022年度事業計画案の提案がなされ、原案通りこれが承認された。

4) 2022年度収支予算について

議長の指名により、佐野理事・運営委員会総務委員長より資料－4に基づき2022年度予算案が提案され、原案通りこれが承認された。

5) 役員及び運営委員改選について

議長の指名により、井上理事長から資料－5に基づき理事及び運営委員の改選案が提案され、原案通りこれが承認された。

6) スポーツ産業学入門書の発刊について

議長の指名により、中村理事・運営委員長から資料－6に基づきスポーツ産業学入門書の発刊について説明がなされ、原案通りこれが承認された。

7) 第32回学会大会（2023年）の開催について

議長の指名により、高橋理事・運営委員会大会委員長より山梨学院大学主管での開催が提案され、原案通りこれが承認された。その後山梨学院大学の笠野英弘氏から挨拶がなされた。

議長の閉会宣言により、総会は閉会した。

以上

(資料－1)

2021年度事業報告

2021年度の実施事業は以下の通りである。

1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

(1) 会議の開催

- ・第31回総会を開催した（2021年7月10日、於・オンライン）。
- ・第64回理事会を開催した（2021年7月10日、於・オンライン）。
- ・第65回理事会を開催した（2022年2月26日、於・オンライン）。
- ・運営委員会を3回開催した（2021年6月14日、9月13日、2022年2月7日、於・オンライン）。

(2) 事務局機能の整備・充実

- ・ウェブサイト（<https://spo-sun.gr.jp/>）を活

用した情報発信を行った。

- ・会員管理システムを導入し、次年度運用開始に向けて準備を行った。

(3) 会員の維持・拡充

- ・会員数（2022年3月31日現在）は以下の通りであった。
 - －正会員566人（前年度比20人増）
 - －学生会員92人（前年度比6人増）
 - －法人会員13団体（前年度比2団体増）
- (株)梓設計、※アビスパ福岡(株)、岩崎電気(株)、NEC ネットエスアイ(株)、SCSK Minoriソリューションズ(株)、コトブキシーティング(株)、(株)ジャパン・スポーツ・マーケティング、大成建設(株)、(株)竹中工務店、(株)東京アスレティッ

ククラブ、※(株)トーガシ、ヒューマンアカデミー(株)、ブリッド(株) ※21年度入会
-賛助会員15団体(前年度比増減無し)
(株)アシックス、(株)井上ビジネスコンサルタンツ、(株)コングレ、(株)サニーサイドアップ、(株)GKダイナミックス、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、セノー(株)、(株)デサント、(株)電通、一般社団法人日本スポーツ用品工業協会、ホクエツ印刷(株)、ミズノ(株)、(株)横浜国際ゴルフ倶楽部、楽天グループ(株)、(株)WOWOW

2. 出版事業

(1)学会誌

- 学会誌『スポーツ産業学研究』を以下の通り発行した。
 - 第31巻第2号(2021年4月1日; 原著論文5編, 研究ノート4編, Sports Business Japan 2020企画提言コンペ受賞論文7編)
 - 第31巻第3号(2021年7月1日; フォーラム1編, 原著論文5編, 研究ノート3編)
 - 第31巻第4号(2021年10月1日; 原著論文4編, 研究ノート2編, 第30回大会アイデアコンペ入選論文4編, スポーツ関連大学の入試情報一覧(2021年度))
 - 第32巻第1号(2022年1月1日; 原著論文9編, 研究ノート1編, 第30回大会アイデアコンペポスター発表論文4編)
- 学会誌『スポーツ産業学研究』(第31巻第2号～第4号, 第32巻第1号)の掲載論文および入試情報一覧を科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)にて公開した。

(2)学会ニュース

- 『学会ニュース』No.117からNo.120を, それぞれ学会誌第31巻第2号から第32巻第1号と合本して発行し, さらにウェブサイトに掲載した。

(3)情報誌

- 情報誌『Sports Business & Management Review』を以下の通り発行した。
 - 第18号(2021年4月1日)
 - 第19号(2021年7月1日)
 - 第20号(2021年10月1日)

- 第21号(2022年1月1日)

- 情報誌『Sports Business & Management Review』の版面(含バックナンバー)を学会ホームページから閲覧できるようにした。

(4)Webジャーナル

- Webジャーナル『Sports Business Online』を発刊した。

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- 第30回大会(2021年7月10日～11日, 担当校・九州産業大学(オンライン), 実行委員長・西崎信男)を開催した。

参加申込者数: 106人(うち有料参加者98人
[正会員72人, 学生会員11人, 法人会員1人, 非会員一般8人, 非会員学生6人])

- メインテーマ「スポーツとファイナンス～地方からの発信」

- 実行委員会企画①

「スペシャルイベントを通じた球団価値の向上: 鷹の祭典を中心に」

演者: 白川隆志(福岡ソフトバンクホークス株式会社執行役員 | 事業統括本部マーケティング部長)

司会: 西崎信男(九州産業大学 教授)

福田拓哉(九州産業大学 准教授)

- 実行委員会企画②

「トップが語るアビスパ福岡のホームタウン戦略とそれを支える地元企業・行政の取り組み」

シンポジスト:

川森敬史(アビスパ福岡株式会社 代表取締役社長)

川原武浩(株式会社ふくや 代表取締役社長)

アビスパ福岡グローバルアソシエイツ(AGA) 常務理事)

石丸修平(福岡地域戦略推進協議会 事務局長)

コーディネーター:

磯貝浩久(九州産業大学人間科学部 教授)

萩原悟一(九州産業大学人間科学部

准教授)

－アイデアコンペ

○スポーツ庁長官賞

「安心・安全・快適に！「AIロボット」と一緒に盛り上がりよう！

～近未来型スマートスタジアム化に向けた観戦ソリューションの提案～

竹下優菜（帝京大学 経済学部経営学科 スポーツ経営コース 川上 祐司ゼミナール）

○日本スポーツ産業学会会長賞

「野球場の車いす席エリアのリノベーション」
龍谷大学 スポーツサイエンスコース 松永敬子ゼミ

－研究発表：40題（一般演題：25題，アイデアコンペ：6題）

－アイデアコンペ ポスター発表：21題

(2)冬季学術集会

- ・第9回冬季学術集会（2022年2月26日，於・追手門学院大学 総持寺キャンパス（オンライン），実行委員長 上田滋夢）を開催した。

－参加申込者数：87人

－シンポジウム

「グローバリゼーションを超える日本型への再帰～The Japan Modelの探究」

【登壇者】

《EUにおけるスポーツ産業の視点から》

佐伯夕利子氏

（公社）日本プロサッカーリーグ常勤理事，

（公社）日本女子サッカーリーグ理事，前 Villarreal FCスタッフ（ビジャレアルFC/スペイン）

《アジアにおけるスポーツ産業の視点から》

是永大輔氏

Albirex Niigata Football Club(S), Chairman, Albirex Niigata Barcelona, President, 前 アルビレックス新潟代表取締役社長，（一社）東京 ニュービジネス協議会国際アントレプレナー賞受賞

《アメリカにおけるスポーツ産業の視点から》

河田 剛氏

Stanford University American Football, Coaching Staff (Offensive Quality Control Analyst)

《都市の創造における環境の視点から》

青島啓太氏

建築家・追手門学院大学基盤教育機構（2022年度より文学部美学・建築文化専攻）准教授（博士 工学），エチオピア国立メケレ大学遺産保存学科専任講師，Tago Architect Istanbul, (株)バスクデザイン一級建築事務所取締役共同代表，

建築ならびに環境創造関連学術賞多数

《モデレーター》

上田滋夢（追手門学院大学社会学部 教授）

－ランチタイムセッション

「大学スポーツの未来に投資するためのアイデアを企画しよう！」

（一社）大学スポーツコンソーシアム KANSAI (KCAA) 学生会

－リサーチ・カンファレンス2022（研究発表数：31題）

○日本スポーツ産業学会賞（若手研究者育成セッション：大学院生）

島津大地（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

「地方競技団体におけるナレッジマネジメントに関する研究」

○奨励賞

佐野 晃（筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院）

「東京オリンピックボランティアによるSNSコメントの定量分析」

○笹川スポーツ財団賞（卒論セッション：学部4年生）

八畑汰介（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部）

「サッカー専用スタジアムに対する品質，ブランド・エクイティ，ブランド・リレーションシップが再観戦意図に与える影響」

○奨励賞

桂木希実（大阪成蹊大学経営学部）

「公式Twitterのツイート内容と利用者の反応の関係性

－日本野球機構と日本女子ソフトボールリーグの公式Twitterに着目して－」

○日本スポーツボランティアネットワーク賞（ジュニアセッション：学部1～3年生）

藤岡 峻（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部）

「ランニングシューズ消費者の知覚リスクがブランド・ロイヤリティ、製品購買意図に与える影響」

○奨励賞

中村 颯（びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部スポーツ学科）

「帝京大学における部活動と学習意欲の関係性の顕在化

－勝利至上主義に対する今後の大学スポーツの在り方－」

安井賢佑、松岡咲季（同志社大学スポーツ健康科学部）

「複合型スタジアムとその隣接施設の関係性

－広島市民球場とルネサンスの事例研究から－」

4. セミナー等の開催

(1)スポーツ産業アカデミー

- ・スポーツ産業アカデミーを11回開催（オンライン）した。

－「日本野球界IT化の現在地」

開催日：2021年4月13日(火)

登壇者：中尾信一（株式会社ネクストベス 代表取締役）

参加者数：67人/参加申込者数：70人

－「NTT東日本のローカル5G×eスポーツの取り組み」

開催日：2021年5月11日(火)

登壇者：門野貴明（東日本電信電話株式会社 ビジネスイノベーション本部 テクニカルソリューション部 担当部長）

参加者数：120人/参加申込者数：133人

－「京都・亀岡スタジアムで開催されるeスポーツ文化祭」

開催日：2021年6月8日(火)

登壇者：尾方 説（一般社団法人ジャパン eスポーツアソシエーション 代表理事）

参加者数：48人/参加申込者数：53人

－「北米発：eスポーツを活用した教育活動

と国際化人材の育成」

開催日：2021年7月13日(火)

登壇者：松原昭博（NASEF JAPAN 会長）

参加者数：45人/参加申込者数：47人

－「コロナ禍における社内交流の新スタイル～eスポーツの新トレンド～」

開催日：2021年9月14日(火)

登壇者：関 和平（ネットワンシステムズ株式会社 社員会代表）

参加者数：34人/参加申込者数：63人

－「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を支えたテクノロジーの振り返り～大会が残したレガシーとは～」

開催日：2021年10月12日(火)

登壇者：舘 剛司（公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 テクノロジーサービス局 局長）

参加者数：128人/参加申込者数：171人

－「アスリートの脳を解明し鍛える」

開催日：2021年11月9日(火)

登壇者：柏野 牧夫（日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所 柏野多様脳特別研究室長）

参加者数：35人/参加申込者数：46人

－「大学e-sportsの最前線：現場だからこそ語る「いま」と「未来」」

開催日：2021年12月14日(火)

登壇者：小澤 行央・西田 陽良（一般社団法人 学生e-sports連盟 副代表理事）

参加者数：30人/参加申込者数：41人

－「埼玉西武ライオンズのファンマーケティング戦略」

開催日：2022年1月11日(火)

登壇者：吉田康治（株式会社西武ライオンズ 事業部 部長）

参加者数：83人/参加申込者数：95人

－「eスポーツで地方から世界へ」

開催日：2022年2月8日(火)

登壇者：渡部裕介（一般社団法人鳥取県eスポーツ協会 代表理事）

参加者数：20人/参加申込者数：37人

－「eスポーツの現在の課題と2022年の方向性

について

～めまぐるしく変わるeスポーツ業界の最新状況とその課題」

開催日：2022年3月8日(火)

登壇者：影澤潤一（株式会社NTTe-Sports
代表取締役副社長）

参加者数：42人/参加申込者数：47人

(2)スポーツビジネスジャパン

- スポーツビジネスジャパンオンラインセミナーとして、ウェビナー形式で現在まで6回開催。各回300人程の方に参加いただく。

(3)スポーツ政策学生会議（SPJ）2021

- Sport Policy for Japan 2021（2021年10月23日～24日、於・オンライン）を開催した。
 - －参加：17大学、46チーム、学生234人
 - －受賞結果

○最優秀賞

- 神奈川大学：小倉ゼミナール チームY
「児童養護施設におけるスポーツ等を通じた支援活動～大学と地域資源を生かして～」

○優秀賞

- 日本体育大学：日比野ゼミ
「長距離ドライバーのボディメンテナンス～」
- 一橋大学：岡本ゼミナール チームI
「外国にルーツをもつ子どもたちにも十分なキャリア教育を～スポーツで繋げるネットワーク～」
- 早稲田大学：間野ゼミ
「ウォータースポーツから水質汚染を見直すプロジェクト
～SUPを利用した『一人ひとりの環境配慮行動会改革』の提案」
- 亜細亜大学：石黒ゼミA
「働く世代のノンストレスプロジェクト
～創作ダンスを使ったレジリエンス研修『COCO』の提案～」
- 日本大学スポーツ科学部：近藤研究室B
「空き家を活用したスポーツ実施率の向上を目指して
～世田谷区をモデルケースとした事業の提

案～」

- 神奈川大学：大竹ゼミナール チームT
「サイクリングの定着を目指して～移動手段だけじゃない！！様々な自転車の魅力～」
- 神奈川大学：大竹ゼミナール チームK
「スポーツを活用した外来種駆除の継続的な取り組み
～外来種駆除大会『めざせ！！外来種マスター』を日本から世界へ！～」

○協賛社特別賞

■笹川スポーツ財団賞

- 神奈川大学：大竹ゼミナール3年チームO
「PFS×IT－歩行促進による医療費の適正化を目指して－」

■UNIVAS賞

- 中央大学：多摩の5階より
「大学スポーツが将来の大学に対する寄付金に与える影響に関する実証的研究」

■協栄賞

- びわこ学院大学：祐末ゼミA
「スポーツ施設政策提言－これからの指定管理者制度－」

■PwCコンサルティング賞

- 亜細亜大学：石黒ゼミC
「廃校を活用したスポーツレジャー施設『のびスポ』の提案
－スポーツの力で地域経済活性化へ－」

■ニューズ・オブ・エド／ダイナミック企画立案賞

- 神奈川大学：大竹ゼミナール チームK
「スポーツを活用した外来種駆除の継続的な取り組み
～外来種駆除大会『めざせ！！外来種マスター』を日本から世界へ！～」

■FORUM8賞

- 東海大学：大津ゼミ
「スポーツ場面におけるエシカルな行動変容への可能性
－人と地球を守る新たなスポーツ文化の醸成に向けて－」

○特別賞

- 明治大学：後藤ゼミB
「大学生お散歩プロジェクト～散活アプリ

“Malk” で心と体も健康に～」

- 一橋大学：岡本ゼミチーム H
「新しいいじめ予防の形～サードプレイスとスポーツの効果に注目して～」
- 神奈川大学：大竹ゼミナール 3 年チーム O
「PFS×IT－歩行促進による医療費の適正化を目指して～」
- 明治大学：澤井研究室チーム A
「未来の体育を創ろう！－ダイバーシティスポーツで体育の楽しさと多様性の理解を～」
- 明治大学：澤井研究室 C
「観光×競技かるた－新たなスポーツツーリズムの展開～」
- 東海大学：秋吉チーム
「働く世代のスポーツ実施率向上に向けて－キャンパスぽーつー」

○学生投票賞

- 1 位：日本体育大学：日比野ゼミ
「長距離ドライバーのボディメンテナンス」
- 2 位：神奈川大学：大竹ゼミナール チーム K
「スポーツを活用した外来種駆除の継続的な取り組み
～外来種駆除大会『めざせ!! 外来種マスター』を日本から世界へ!～」
- 3 位：早稲田大学：間野ゼミ
「ウォータースポーツから水質汚染を見直すプロジェクト
～SUPを利用した「一人ひとりの環境配慮行動会改革」の提案」

(4)専門分科会

- スポーツ産業史専門分科会に補助した。

5. 表彰事業

- 第31回総会（2021年7月10日：オンライン開催）後に学会賞授与式を行った。
－学会賞論文…副賞10万円
「スポーツ施設の整備及び運営に伴う経済効果の検証：スポーツ関連事業への地域付加価

値創造分析の適用」

- 横田匡俊（日本体育大学スポーツマネジメント学部）
稲垣憲治（京都大学）
庄子博人（同志社大学）
岡田真平（公益財団法人身体教育医学研究所）
佐藤照友旭（公益財団法人身体教育医学研究所）
荒井宗武（東御市企画振興部文化・スポーツ振興課）共著

〔原著論文〕（第30巻第4号掲載）

－奨励賞論文…副賞5万円

- 「スタジアム整備構想におけるステークホルダーの特定と類型化：北九州スタジアムのケース・スタディ」
舟橋弘晃（早稲田大学）
菅 文彦（大阪成蹊大学）
桂田隆行（早稲田大学総合研究機構スポーツビジネス研究所）
間野義之（早稲田大学）共著

〔原著論文〕（第30巻第2号掲載）

- 第32回総会後に授与が予定されている学会賞の候補論文を選考した。

6. その他

- 「感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要に関する研究」を早稲田大学スポーツビジネス研究所（RISB）、同志社大学スポーツマネジメント研究センターとの共同研究として実施した。（4月から8月まで、計5回）
- スポーツ産業教育推進プロジェクトを立ち上げ、その推進委員会を5回開催した。今後、月次の委員会を重ねて、22年度中に「スポーツ産業学の入門書（題名未定）」を刊行することを最初の目標としている。
- スポーツ庁支援によるスポーツキャリアサポートコンソーシアムに入会した（2021年11月）。
- 学会活動の活性化と促進を図るために、「Journal of Digital Life」Alliance Programに加盟した（2021年11月）。

(資料－２)

2021年度収支決算報告書

(2022年3月31日現在)

(収入の部)

(単位：円)

科 目		予 算 額	実 績	実績－予算
1.	入会金収入	90,000	138,000	48,000
a.	入会金収入	90,000	138,000	48,000
2.	会費収入	6,721,000	7,222,000	501,000
a.	正会員会費収入	3,409,000	3,828,000	419,000
b.	学生会員会費収入	162,000	144,000	△18,000
c.	法人会員会費収入	550,000	650,000	100,000
d.	賛助会員会費収入	2,600,000	2,600,000	0
3.	寄付金・補助金収入	0	0	0
a.	寄付金・補助金収入	0	0	0
4.	販売品収入	1,600,000	2,626,000	1,026,000
a.	掲載料・論文抜き刷り代金	1,300,000	2,464,000	1,164,000
b.	図書等販売収入	300,000	162,000	△138,000
5.	学会大会収入	1,675,000	792,000	△883,000
a.	参加費収入	905,000	492,000	△413,000
b.	協賛金収入	300,000	300,000	0
c.	懇親会費収入	320,000	0	△320,000
d.	その他	150,000	0	△150,000
6.	冬季学術集会収入	130,000	107,000	△23,000
a.	参加費	0	0	0
b.	リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	107,000	△23,000
7.	事業収入	1,080,000	1,442,000	362,000
a.	セミナー事業収入	100,000	140,000	40,000
b.	Sport Policy for Japan事業収入	980,000	1,302,000	322,000
c.	その他	0	0	0
8.	雑収入	100	86	△14
a.	預金利息	100	86	△14
b.	雑収入	0	0	0
収 入 合 計		11,296,100	12,327,086	1,030,986

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	実 績	実績-予算
1. 学会組織の整備拡充費		1,130,000	1,179,336	49,336
a.	理事会会議費	80,000	0	△80,000
b.	運営委員会会議費	100,000	0	△100,000
c.	システム管理費	950,000	1,179,336	229,336
d.	広報活動費	0	0	0
e.	ウェブシステム更新費	0	0	0
2. 出版事業費		5,850,000	6,318,390	468,390
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	4,368,430	1,168,430
b.	学会誌編集費	400,000	325,897	△74,103
c.	情報誌製作費	1,800,000	1,160,643	△639,357
d.	発送費	450,000	463,420	13,420
3. 学会大会開催費		1,675,000	527,978	△1,147,022
a.	会場費	150,000	0	△150,000
b.	懇親会費	545,000	0	△545,000
c.	印刷費	250,000	137,560	△112,440
d.	講師関係費	200,000	125,171	△74,829
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	500,000	265,247	△234,753
h.	予備費	30,000	0	△30,000
4. 冬季学術集会開催費		580,000	455,501	△124,499
a.	会場費	200,000	0	△200,000
b.	昼食会費	50,000	0	△50,000
c.	印刷費	100,000	102,740	2,740
d.	事務局経費	100,000	0	△100,000
e.	事業費	130,000	352,761	222,761
5. 事業費		1,155,721	1,347,477	191,756
a.	セミナー事業費	50,000	13,210	△36,790
b.	カンファレンス事業費	50,000	0	△50,000
c.	専門分科会事業費	20,000	20,262	262
d.	Sport Policy for Japan事業費	1,035,721	1,314,005	278,284
e.	その他事業費	0	0	0
6. 国際交流事業費		0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7. 表彰事業費		230,000	161,440	△68,560
a.	学会賞表彰事業費	230,000	161,440	△68,560
8. 事務局費（管理費）		3,830,000	3,939,664	109,664
a.	交通費	300,000	29,548	△270,452
b.	消耗品費	200,000	211,775	11,775
c.	通信費	300,000	185,060	△114,940
d.	人件費	3,000,000	3,488,175	488,175
e.	雑費	30,000	25,106	△4,894
9. 予備費		3,000,000	933,689	△2,066,311
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	3,000,000	933,689	△2,066,311
支 出 合 計		17,450,721	14,863,475	△2,587,246
収 支 差 額		△6,154,621	△2,536,389	3,618,232
前 期 繰 越 金		18,125,000	18,125,000	0
次 期 繰 越 金		11,970,379	15,588,611	3,618,232

注

注) 前期2月に行われた第8回冬季学術集会のリサーチ・カンファレンスの審査料(77,776円)と大会号作成費(54,670円)、計132,446円の未払い分も共に計上。

(資料－3)

2022年度事業計画

1. 学会組織の整備・充実・運営

(1)会議の開催

- 総会（第32回）
- 理事会（第66回・第67回）
- 運営委員会（2～3回の予定）

(2)学会の広報

- ウェブサイト（www.spo-sun.gr.jp）の活用・充実
- 展示会等への出展
- その他の広報活動

(3)事務機能の強化

- ウェブシステムの更新
- 〔参考〕正会員566人，学生会員92人，法人会員13団体，賛助会員15団体
(2022年3月末現在)

2. 機関誌，会報等の発行

(1)学会誌の発行

- 『スポーツ産業学研究』（第32巻第2～第4号，第33巻第1号）
- 『スポーツ産業学研究』掲載論文を「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて公開（第32巻第2～第4号，第33巻第1号）

(2)情報誌の発行

- 『Sports Business & Management Review』（No.22～No.25）

(3)Webジャーナルの発行

- 『Sports Business Online』

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- 第31回学会大会（2022年7月9日(土)～10日(日) 帝京大学八王子キャンパス）

(2)冬季学術集会

- 第10回冬季学術集会（2023年2月予定）

4. 研究会，講演会，公開講座等の開催

- スポーツ産業学セミナーの開催
- スポーツ産業アカデミーの開催
- スポーツキャリアサポート研究会の開催
- スポーツビジネスジャパンの開催
- Sport Policy for Japan（SPJ）の開催
- 専門分科会への補助
- その他事業

5. 表彰事業

- 学会賞の表彰
- 学会賞候補論文の選考

6. その他

- スポーツ産業教育推進プロジェクトの実施
- 産学連携事業の推進
- 他団体主催イベントへの後援・協力

(資料－４)

2022年度収支予算書

(2022年４月１日～2023年３月31日)

(収入の部)

(単位：円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1.	入会金収入	90,000	90,000	0
a.	入会金収入	90,000	90,000	0
2.	会費収入	6,840,000	6,721,000	119,000
a.	正会員会費収入	3,500,000	3,409,000	91,000
b.	学生会員会費収入	140,000	162,000	△22,000
c.	法人会員会費収入	600,000	550,000	50,000
d.	賛助会員会費収入	2,600,000	2,600,000	0
3.	寄付金・補助金収入	0	0	0
a.	寄付金・補助金収入	0	0	0
4.	販売品収入	1,834,000	1,600,000	234,000
a.	掲載料・論文抜き刷り代金	1,700,000	1,300,000	400,000
b.	図書等販売収入	134,000	300,000	△166,000
5.	学会大会収入	1,675,000	1,675,000	0
a.	参加費収入	905,000	905,000	0
b.	協賛金収入	300,000	300,000	0
c.	懇親会費収入	320,000	320,000	0
d.	その他	150,000	150,000	0
6.	冬季学術集会収入	130,000	130,000	0
a.	参加費	0	0	0
d.	リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	130,000	0
7.	事業収入	1,080,000	1,080,000	0
a.	セミナー事業収入	100,000	100,000	0
b.	Sport Policy for Japan事業収入	980,000	980,000	0
c.	その他	0	0	0
8.	雑収入	100	100	0
a.	預金利息	100	100	0
b.	雑収入	0	0	0
収 入 合 計		11,649,100	11,296,100	353,000

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1.	学会組織の整備拡充費	1,130,000	1,130,000	0
a.	理事会会議費	80,000	80,000	0
b.	運営委員会会議費	100,000	100,000	0
c.	システム関連費	950,000	950,000	0
d.	広報活動費	0	0	0
2.	出版事業費	5,850,000	5,850,000	0
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	3,200,000	0
b.	学会誌編集費	400,000	400,000	0
c.	情報誌製作費	1,800,000	1,800,000	0
d.	発送費	450,000	450,000	0
3.	学会大会開催費	1,675,000	1,675,000	0
a.	会場費	150,000	150,000	0
b.	懇親会費	545,000	545,000	0
c.	印刷費	250,000	250,000	0
d.	講師関係費	200,000	200,000	0
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	500,000	500,000	0
h.	予備費	30,000	30,000	0
4.	冬季学術集会開催費	580,000	580,000	0
a.	会場費	200,000	200,000	0
b.	昼食会費	50,000	50,000	0
c.	印刷費	100,000	100,000	0
d.	事務局経費	100,000	100,000	0
e.	事業費	130,000	130,000	0
5.	事業費	1,443,716	1,155,721	287,995
a.	セミナー事業費	50,000	50,000	0
b.	カンファレンス事業費	50,000	50,000	0
c.	専門分科会事業費	20,000	20,000	0
d.	Sport Policy for Japan事業費	1,023,716	1,035,721	△ 12,005
e.	その他事業費	300,000	0	300,000
6.	国際交流事業費	0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7.	表彰事業費	280,000	230,000	50,000
a.	学会賞表彰事業費	280,000	230,000	50,000
8.	事務局費（管理費）	4,130,000	3,830,000	300,000
a.	交通費	600,000	300,000	300,000
b.	消耗品費	200,000	200,000	0
c.	通信費	300,000	300,000	0
d.	人件費	3,000,000	3,000,000	0
e.	雑費	30,000	30,000	0
9.	予備費	0	3,000,000	△ 3,000,000
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	0	3,000,000	△ 3,000,000
支 出 合 計		15,088,716	17,450,721	△ 2,362,005
収 支 差 額		△ 3,439,616	△ 6,154,621	2,715,005
前 期 繰 越 金		15,588,611		
次 期 繰 越 金		12,148,995		

(資料－５)

役員及び運営委員改選について

(2022年7月9日から2025年7月まで)

役 員

新		旧	
会 長	尾山 基 (留任)	会 長	尾山 基
〃	平田 竹男 (留任)	〃	平田 竹男
理 事 長	井上 智治 (留任)	理 事 長	井上 智治
理 事	池田 弘 (留任)	理 事	池田 弘
〃	大井 義洋 (新任)	〃	梶川 裕矢
〃	梶川 裕矢 (留任)	〃	北村 薫 (退任)
〃	児玉ゆう子 (新任)	〃	佐野 毅彦
〃	佐野 毅彦 (留任)	〃	高橋 義雄
〃	高橋 義雄 (留任)	〃	武内 紀子
〃	武内 紀子 (留任)	〃	竹内 弘高 (退任)
〃	次原 悦子 (留任)	〃	次原 悦子
〃	中村 好男 (留任)	〃	中村 潔 (退任)
〃	原田 宗彦 (留任)	〃	中村 好男
〃	藤原 庸介 (留任)	〃	原田 宗彦
〃	松尾 哲矢 (留任)	〃	藤原 庸介
〃	間野 義之 (留任)	〃	松尾 哲矢
〃	三木谷浩史 (留任)	〃	間野 義之
〃	水野 明人 (留任)	〃	三木谷浩史
〃	水野 利昭 (留任)	〃	水野 明人
〃	渡邊 一利 (留任)	〃	水野 利昭
〃		〃	渡邊 一利
顧 問	桂川 保彦	顧 問	桂川 保彦
監 事	栗山 貴行 (留任)	監 事	栗山 貴行
〃	得田 進介 (留任)	〃	得田 進介

(計 23名)

運 営 委 員

新		旧	
委 員 長	中村 好男 (留任)	委 員 長	中村 好男
副 委 員 長	佐野 毅彦 (留任)	副 委 員 長	佐野 毅彦
〃	高橋 義雄 (留任)	〃	高橋 義雄
委 員	青山 芳之 (留任)	委 員	青山 芳之
〃	東 俊介 (留任)	〃	東 俊介
〃	家本賢太郎 (留任)	〃	家本賢太郎
〃	石黒 えみ (留任)	〃	石黒 えみ
〃	伊地知直亮 (留任)	〃	伊地知直亮
〃	磯貝 浩久 (留任)	〃	磯貝 浩久
〃	井上 俊也 (留任)	〃	井上 俊也
〃	岩月 基洋 (留任)	〃	岩月 基洋
〃	上田 滋夢 (留任)	〃	上田 滋夢
〃	元 晶煜 (留任)	〃	元 晶煜
〃	宇藤 智子 (留任)	〃	宇藤 智子
〃	大井 義洋 (新任)	〃	岡 浩一朗
〃	岡 浩一朗 (留任)	〃	梶川 裕矢
〃	梶川 裕矢 (留任)	〃	菊池 秀夫 (退任)
〃	越川 茂樹 (留任)	〃	越川 茂樹
〃	児玉ゆう子 (留任)	〃	児玉ゆう子
〃	佐々木達也 (留任)	〃	佐々木達也
〃	澤井 和彦 (留任)	〃	佐藤 潤 (退任)
〃	庄子 博人 (留任)	〃	澤井 和彦
〃	新戸 明子 (留任)	〃	庄子 博人
〃	田中 克昌 (留任)	〃	新戸 明子
〃	田中 弘一 (留任)	〃	田中 克昌
〃	辻 武伺 (留任)	〃	田中 弘一
〃	長井 延裕 (留任)	〃	辻 武伺
〃	新井野洋一 (留任)	〃	長井 延裕
〃	服部 宏 (留任)	〃	新井野洋一
〃	藤沢 久美 (留任)	〃	服部 宏
〃	藤田 康範 (留任)	〃	藤沢 久美
〃	藤本 淳也 (留任)	〃	藤田 康範
〃	松尾 哲矢 (留任)	〃	藤本 淳也
〃	松下 尚道 (留任)	〃	松尾 哲矢
〃	松橋 崇史 (留任)	〃	松下 尚道
〃	水野 利昭 (留任)	〃	松橋 崇史
〃	矢島ますみ (留任)	〃	間野 義之 (退任)
〃	梁瀬 和人 (留任)	〃	水野 利昭
		〃	矢島ますみ
		〃	梁瀬 和人

(計 38名)

(資料－6)

スポーツ産業学入門書の発刊について

『よくわかるスポーツ産業学（仮称）』の出版計画の発端は、第64回理事会（2021年7月）の際に「本学会の活動は、研究に比してスポーツ産業教育に関する議論や活動が少なかったのではないか」という意見が出されたことである。その後、運営委員会で検討された問題の所在は以下の通り。

- 学会は研究者や企業・実務家を中心とした研究・研鑽活動に注力してきたが、学生に対する教育的活動にも力を注ぐべきではないか。（再確認）
- 学生向けの取り組みとしては、リサーチカンファレンスに加えてSPJも大きな成果を上げているし、企画コンペにも学生の参加が多い。
- 設立後30年を経て、スポーツ産業の研究連携は進んできているが、それを教育に結びつける作業は必ずしも十分ではなかった。
- 「スポーツビジョン21」を踏まえてスタートした学会として、30年を区切りとして、学会として、スポーツ産業の道標を示す作業があっても良い。

このような経緯と動機から、これまで以上に（大学）教育に注視した形でスポーツ産業の議論を展開すべきという共通認識に集約され、「スポーツ産業教育推進プロジェクト」を発足し、2022年度

の学会事業計画で推進することとなった（第65回理事会承認）。その後、同プロジェクトにおいて「スポーツ産業入門書」の発刊を目指して検討が進められた。

については、本総会において、以下の出版計画について承認を求めたい。

【出版計画の概要】

- 書名：『よくわかるスポーツ産業学』（仮称）
 - 対象：大学生を対象とした入門書
 - 編者：日本スポーツ産業学会編
 - 趣旨：
 - － 「スポーツビジョン21」を踏まえて、その後の発展を体系化
 - － 見開き2ページ、約80項目程度を想定
 - － 今後のスポーツ産業学の学問体系につなげることを期待
- （2023年春出版予定）

※現在、月1回（第4週・月曜日の夕方）のペースで編集委員会が開催されているが、今後内容の検討と執筆を進めるにあたって参画する会員を募集したい。

以上

スポーツ産業アカデミー開催報告

※日 時：2022年7月7日(木) 18:00～19:00

■テーマ：「フランス発：フランス企業の新たな
スポーツ観戦体験の取り組み」

■登壇者：Christophe Carniel (VOGO)

■会 場：Zoomウェビナー

■参加者数：31人/参加申込者数：43人

※日 時：2022年7月12日(火) 18:00～19:30

■テーマ：「eスポーツと地域コミュニティビジ
ネスー大阪、関西に根ざして株式会社
PACkage が取り組むeスポーツと地
域コミュニティビジネス」

■登壇者：山口 勇（株式会社PACkage 代表取
締役 大阪府eスポーツ連合理事）

■会 場：Zoomウェビナー

■参加者数：13人/参加申込者数：25人

※日 時：2022年9月13日(火) 18:00～19:30

■テーマ：「eスポーツを通じた地域振興とデジ
タルイノベーション人材育成」

■登壇者：尾方 説（一般社団法人 ジャパンeス
ポーツアソシエーション 代表理事）

■会 場：Zoomウェビナー

■参加者数：35人/参加申込者数：44人

事務局より

〈シクミネットについて〉

2021年4月より会員管理・入金管理システムであるシクミネット (<https://shikuminet.com/>) を導入して2年目となりました。システム導入・継続にあたり多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

正会員、学生会員の皆様には以下の内容について当該システム上の「マイページ」よりお手続きをお願いします。

- 登録情報の編集
- 年会費の支払い
- 当学会主催イベントへの申し込み、入金

尚、年会費の支払い方法につきましては変更可能ですので、ご都合の良いお支払方法をご選択ください。決済方法はいつでも変更可能ですが、マイページ「ご請求・お支払い情報」で「決済中」となっているご請求がある場合は、このご請求の決済完了後から、変更可能となります。

クレジットカード決済をご選択されている場合、マイページの「ご請求・お支払い情報」ページ中、「お支払い履歴」一覧の一番右にあります「領収書」より、領収書の発行が可能です。こちらをご活用ください。但しこの場合、領収書の発行者が「しゅくみねっと株式会社」になります。学会発行の領収書が必要な場合は事務局までご連絡ください。

まだログインお手続きがお済でない会員の皆様は、早めのお手続きをお願いいたします。本学会の銀行またはゆうちょ口座へ直接お振込みをご希望の方は、事務局までご一報ください。その他ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

- システムに関して：シクミネット info-jssi10023@shikuminet.com
- その他：日本スポーツ産業学会事務局 jssi@spo-sun.gr.jp

〈学会事務局〉

現在事務局はリモートワーク中ですので、お問い合わせ等ございましたら事務局宛 (jssi@spo-sun.gr.jp) にメールでご連絡くださいますようお願いいたします。

〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は、現在、個人会員が約660名、賛助会員が14団体、法人会員が13団体です。

本学会は、設立理念にもありますように、産業界、学界、官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し、ともに研究を進める仲間を募っています。ご紹介頂ければ幸いです。

- 個人会員：学会HPご入会のご案内 <https://jssi.shikuminet.jp/>
「会員登録申請」よりお手続き願います。
- 法人会員・賛助会員：事務局 (jssi@spo-sun.gr.jp) までご連絡願います。

「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究），研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メールへの添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo123」

発行日：2022年10月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 井上 智治

編集者：児玉ゆう子，中村 好男，磯貝 浩久，元 晶煜
岡 浩一郎，梶川 裕矢，越川 茂樹，田中 克昌
藤田 康範，藤本 淳也，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<https://spo-sun.gr.jp>